



私たちの思い

3学期になって、嬉しい知らせがたくさんありました。年明け早々に、鹿児島市役所に合格するまでの受験体験記が新聞の投書欄に掲載されたり、鹿児島大学などの合格の知らせであったり、最後の甲陵生として、進路実現についても私たちがなりの頑張りをみせることができたと思っています。

そして、さらに私たちが元気づけたことがあります。それは、先日甲陵の女子生徒2名が下校中に道路でゴミ拾いをしていたところ、「とても感心だ」と学校に連絡があったことと、ある男子生徒が下校時に、バスを降りてすぐに倒れ込んだ人を見て、自分もバスから降りて介抱したところ、「本当にいまどきの若者にしては珍しい」と褒められたことです。褒められた当人達によるのではなく、当たり前のごとであり、何故こんなことで大人は騒ぐのだろうと、かえって気恥ずかしいような様子でした。

あまり派手なニュースはないけれど、当たり前前のことを、当たり前前に積み上げてゆくこと。それが私たち甲陵生の守るべき伝統だと、しみじみ思います。

閉校記念碑・記念樹への願い

甲陵高校の正門に立つと、すぐその正面に八重山の稜線を表現した甲陵高校の閉校記念碑を見ることができる。

校歌を刻んだ山並みの向こうには、2本の河津さくらが一足先に春を告げようと蕾を弾けんばかりに膨らませている。校訓碑は、その威厳を保ちつつ、ただ閑かに稜線の向こうに座している。

同窓生の尽力によって造られたこの風景が、この地を継ぐ明桜館生の心にも永く刻まれていくことを願う。

